

青雲の志

岩手県立花北青雲高等学校
校長通信 第16号
令和4年6月22日発行
文責 校長 佐々木 伸良

2年ビジネス情報科「マーケティング」 ～三ツ矢サイダーと宮澤賢治～

6月21日(火)ビジネス情報科の授業を見学。

当日は、生徒とアサヒ飲料の方々と話し合いを重ね、三ツ矢サイダーなどの新しい商品化について、生徒が意見を出し合い、新商品を具体化させていく取り組みをしていました。スマートフォンを活用しながら、いろいろな情報を出し合い、グループごとにアイデアを考えていく授業は、私が見てもワクワクする内容でした。このアサヒ飲料さんと本校生徒との商品開発の授業は、これからも続きます。



さて、宮澤賢治が、天ぷらそばを食べに花巻のやぶ屋さんをよく訪れ、必ずサイダーも注文していたというエピソードがあります。そのサイダーが「三ツ矢サイダー」ということは、知りませんでした。調べてみると、確かに三ツ矢サイダーでした。やぶ屋さんでは、今でも「賢治セット」として天ぷらそばと三ツ矢サイダーが売られています。



案外、三ツ矢サイダーのことは、知られていないかもしれないので、そこに商品価値が生まれるヒントがあると思います。青雲高校の生徒が、ヒット商品を生み出してくれることを期待しています。

6/21(火)2年校長講話実施 可能性への挑戦

<生徒の感想>

答えのない問題にどのように対応していくか、失敗や挫折に成長があり、失敗を恐れず挑戦することで自分の可能性を広げていきたい。(2A)

学習と部活の両立は50%ずつではなく、100%の切り替えだということが印象に残った。努力は無敵だが時間は有限なので、学習と部活動の時間を大切に切り替えていきたい。(2A)

人との出会いが人生を変える。与えられたチャンスを自分のためになるように努力していることが、大切だと思った。企業説明会では、自分の将来を考えて主体的に取り組まなければならないと感じた。(2B)

人生には、山登り型と川下り型があり、将来の目標を焦って決める必要はないと聞いて、ほっとした。自分の得意なことを一つ一つ積み重ねて、多くの経験をしながら、自分を高めていきたい。(2B)

資格は、卒業後も自分の人生に役立つので、できるだけ多くの資格を取得できるように今まで以上に勉強に取り組もうと思う。検定以外の科目も将来後悔しないように今のうちにこつこつと頑張ります。(2C)

自分の強みを自分が気づいていなくても周りが分かっているから、自分にチャンスを与えてくれているということに印象が残った。チャンスを与えられるような人になれるように、自分を磨いていこうと思いました。(2C)

今と未来はつながっている。過去は変えられないけど自分の未来は、今の自分の生き方次第で大きく変わる可能性がある。1年後に頑張るのではなく、自分の未来のために今を頑張る。(2D)

一緒に頑張る仲間を誇りにもち、学校のことだけでなくボランティアにも取り組み、失敗してもその失敗がいつか大きな成功につながると信じて取り組みたい。(2D)